

2026年7月13日(月)

北海道エアポート株式会社

釧路空港事業所

釧路空港鳥獣害対策として “自律走行型モンスターウルフ”を全国初本格導入!!

釧路空港を運営する北海道エアポート株式会社は、6月12日(金)より、自律走行型鳥獣害対策システム「WOLF-GUARD(モンスターウルフ on YARBO)」を全国で初めて本格導入※いたしました。

空港運営においては、航空機の安全運航確保のため、小動物など野生動物の侵入防止対策に取り組んでおります。釧路空港では、2024年度より実証実験として、オオカミを模した撃退装置“モンスターウルフ”を導入した結果、小動物侵入が従来の約6割減少し、航空機との衝突リスク低減による安全性向上と、忌避対応や出動回数の減少による業務効率化を実現しました。

これらの成果を踏まえ、“モンスターウルフ”に“自律走行機能”を備えた「WOLF-GUARD」を本格導入し、運用を開始したものです。

北海道エアポート株式会社は、今後も先進技術の活用を通じて、空港の安全確保と安全対策の高度化に取り組んでまいります。

※合同会社コンチェルタート調べ

概要

< ポイント >

- 自律走行型モンスターウルフの全国初本格導入
- 空港安全の強化(小動物の出没数が約6割減、航空機との衝突リスク低減)
- 業務効率化(忌避対応や出動回数の減少、職員の負担軽減と省力化を実現)

- 名称 : WOLF-GUARD(モンスターウルフ on YARBO)
- 設置場所 : 釧路空港制限区域内 場周道路
- 設置期間 : 2026年6月12日(木)~2026年11月30日(月)予定
- 内容 : 自律的に巡回しながら威嚇を行うことにより、小動物侵入を抑制するもの
- 目的 : 航空機と小動物との衝突リスクを低減し、航空機運航の安全確保を図るため
- 協力事業者 : 合同会社コンチェルタート [システム企画・構築・運用管理]
株式会社ウルフ・カムイ [モンスターウルフ提供および技術協力]
株式会社QYURU [自律走行・遠隔監視システム技術協力]

詳細は次頁をご参照

機器概要

- 設置場所：釧路空港 制限区域内場周道路
- 走行距離：約250m区間（往復走行）



- サイズ : 長さ 168cm×幅 78cm×高さ 100cm
- 重量 : 約 120Kg
- 駆動方式 : バッテリー駆動 (自動充電式)
- 稼働時間 : 24時間(1時間/1回)

